

令和4年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和4年度、児童にアンケートを行ったところ、「英語活動は楽しいですか」という質問に対し、「とても楽しい」、「楽しい」と回答した児童は、全体の83%でした。1・2年生のDVD視聴の様子を見ると、友達とペアになって音楽に合わせて、始めと終わりの挨拶を行ったり、曲に合わせて体を動かしながら英語の歌を歌ったりしていました。また、3・4年生の教室では、担任からの質問に対し、英語で答えるなど、自然に英語に親しんでいる姿が見られました。このことから、英語活動に対する抵抗感を感じていない児童が多いと考えます。

【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和4年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は、英語教育に力を入れていますか」という質問に対し、「よくあてはまる」35%、「ややあてはまる」35%、「あまりあてはまらない」31%でした。このことから、保護者方に、本校で行っている英語活動に関しての情報提供をしていく必要があると考えます。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

資料1から、児童にとって「イングリッシュタイム」は、友達とコミュニケーションをとりながら、楽しく学習できる時間となっていることが分かります。そして、担任の質問に英語で答えることができるという児童の姿からは、日々のDVD視聴を通じて英語で話されている内容を概ね理解し、英語活動を行うことができているといえます。

また、資料2の保護者のアンケートからは、「イングリッシュタイム」を積極的に保護者に公開するなどして、各学年の発達段階に応じた英語の基本的な表現に慣れ親しんでいる児童の姿を参観していただくとともに、本校の英語活動に対して、保護者の方からの理解を得られるよう、児童が楽しく英語活動に取り組み、慣れ親しむことができるような教育活動を工夫し取り組んでいきます。